

## 各団体における取組

### 【埼玉県消費者団体連絡会】

#### ○ 令和4年度の取組

- ・ 5月31日に令和3年度分の埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会を埼玉県消費者団体連絡会を中心に開催。埼玉県食品衛生監視指導計画の執行状況や今年度の計画のポイント、鳥インフルエンザや豚熱について、S-GAP推進における現状と課題について懇談。令和4年度分の同懇談会は、令和5年2月6日に開催し、埼玉消費者団体連絡会および県内生協から出席して開催。
- ・ 5月23日（月）、ハイブリッドで「よく見て選ぼう食品表示 ～関連制度の最新動向～」と題した学習会を開催。
- ・ 10月25日、第58回埼玉県消費者大会の食分科会で「健康食品で健康になれますか」をテーマに学習。
- ・ 12月7日、埼玉県委託事業県内消費者団体地区別研修会で「みどりの食料システム戦略について」、12月12日、同地区別研修会で「すこしお生活で健康にくらそう」をテーマに学習。
- ・ 県内の協同組合が参加する実行委員会が呼びかける、埼玉まるごとヘルスチャレンジ2022への参加よびかけ。

#### ○ 令和5年度の取組計画

- ・ 10月、第59回埼玉県消費者大会食分科会を開催予定。
- ・ 令和6年2月、埼玉県食品衛生安全局と消費者団体の懇談会開催予定。
- ・ 埼玉まるごとヘルスチャレンジ2023への参加よびかけ予定。

### 【新日本婦人の会埼玉県本部】

#### ○ 令和4年度の取組

- ・ 1990年から「産直運動」を実施。「食べて、学んで、美しく」をスローガンに32年間にわたり多様な取り組みを展開してきました。
- ・ 生産者との交流を大切に、田植えや稲刈り体験などをおこなっています。体験だけでなく、生産者を訪ねて直接お話を聞いたり、郷土料理を大切にする視点を取り入れてきました。大豆トラスト運動での味噌づくりも行いました。
- ・ 食の安全に関わる農薬・添加物、食品分析、自然エネルギー、日本の食料・農業問題なども学習しました。



## ○ 令和5年度活動計画

- ・ 田植えや稲刈りの農作業体験の継続した実施。
- ・ 埼玉県産米の消費拡大に関する学習会の実施。
- ・ 「産直ツアー」の実施検討。県産米や県産農産物を使った手づくり体験会や料理会を県内各地で実施検討。
- ・ 産直品を美味しく食べる料理グループの実施を検討。
- ・ 「食」の安全や「食料自給率の引き上げ」、SDGs、自然エネルギーに関する学習会などの開催。

## 【公益社団法人埼玉県栄養士会】

### ○ 令和4年度の取組

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第42回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施

### ○ 令和5年度の取組計画

- ・ 市民健康栄養講座（講話、骨密度測定、栄養・食生活相談）
- ・ 埼玉県米消費拡大推進協議会事業への協力
- ・ 彩の国米まつりにおいて食生活相談・骨密度測定
- ・ 介護予防における栄養講座と調理実習
- ・ 食事バランスガイドの推進（通年）
- ・ 栄養の日イベント（8月5日）栄養週間（県民の栄養に対する興味喚起を促す）
- ・ 地産地消の推進
- ・ 埼玉県牛乳普及協会 第43回牛乳・乳製品料理コンクールへの協力
- ・ 障害者施設における栄養講座と調理実施



## 【一般社団法人埼玉県調理師会】

### ○ 令和4年度の取組

---

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発
- ・ 地産地消を会員に協力依頼
- ・ 健康づくり協力店の推進
- ・ 調理師による県民の食生活の向上に関する条例の実施
- ・ (公社) 日本調理師会主催の全国こども愛情弁当コンテストへの協力
- ・ 埼玉県鮎組合…埼玉県産野菜酵素すしの勉強会と料理教室(5月6名・10月8名)  
寿司割烹 山水にて
- ・ 調理師試験準備講習会・模擬試験の実施

### ○ 令和5年度の取組計画

---

- ・ 県民の健康づくりのために食生活の改善、食品衛生の推進、安心安全な食品の推進と会員の資質向上、調理師技術、健康食育の推進・啓発
- ・ 地産地消を会員に協力依頼
- ・ 健康づくり協力店の推進
- ・ 料理の工夫及び研究(アレルギー対策等含)
- ・ 調理師による県民の食生活の向上に関する条例の実施
- ・ (公社) 日本調理師会主催の全国こども愛情弁当コンテストへの協力
- ・ 埼玉県鮎組合…埼玉県産野菜酵素すしの勉強会と料理教室(9月)
- ・ 会員増員に向けての取り組み
- ・ 調理師試験準備講習会・模擬試験の実施

## 【埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会】

### ○ 令和4年度の取組

---

- ・ 食育月間(毎年6月)、食育の日(毎月19日)の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催  
米料理教室は、29市町30会場(659名)で実施
- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ コロナ禍で地産地消の啓発としての県の米をはじめ農産物を利用したイベントでの試食づくり、宣伝活動の中止
- ・ 地場産の食材を使ったコバトン健康メニュー(塩分3g未満、野菜120g以上、カロリー500~700カロリーまで)の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及(県内18市町で実施)、(県のホームページに随時掲載し、クックパッドにも掲載)
- ・ 各市町の特産品を使った県内各地のレシピ集の作成(令和4年2月に発行)

### ○ 令和5年度の取組計画

---

- ・ 食育月間(毎年6月)、食育の日(毎月19日)の普及啓発
- ・ 県内産の米を使った県民向けの料理教室を開催  
米料理教室は、30市町で実施予定

- ・ 地域の行事食、伝統食の継承
- ・ 地産地消の啓発として、県産米をはじめとした農産物を利用したイベントでの試食づくり、宣伝活動
- ・ 地場産の食材を使った埼玉県コバトン健康メニュー（塩分 3 g 未満、野菜 120 g 以上、カロリー 500～700 カロリーまで）の新メニュー開発と既存メニューの県民への普及（県内 20 市町で実施）（県のホームページに随時掲載、クックパッドにも掲載）

## 【埼玉県農業協同組合中央会】

### ○ 令和 4 年度の取組

- ・ 埼玉県内 J A および J A 女性部等による「J A グループさいたま 6 次産業化商品販売会」の開催（埼玉県農林公園内 3 月 5 日～5 月 15 日）
- ・ 県産農産物を使用した「健康で風土に合った食生活研修会」の実施（6 月 14 日、22 日）
- ・ 野菜の日にちなんで、8 月 31 日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
- ・ 埼玉スタジアムにおいて、来場者に向けて中央会会長・浦和レッズ社長が県産農畜産物の P R を行った。（10 月 8 日）
- ・ 県内 J A 女性部が作った加工品等を農林公園内にて販売を行った。（10 月 30 日）
- ・ 県産農畜産物の P R のため、11 月 29 日開催の「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」に協賛した。
- ・ 9 月から 1 月にかけて、県産米新米キャンペーンを開催し、県産新米購入者を対象に抽選で景品が当たる企画や、浦和レッズ選手や N A C K 5 を活用して、県産米の P R を行った。
- ・ 令和 5 年 1 月 7 日、浦和レッズと連携し、県内外の親子約 100 組にごはん食の大切さを伝える動画を配信するとともに、浦和レッズ O B によるサッカー教室を開催した。
- ・ 令和 5 年 3 月 18 日、駒場スタジアムにおいて、来場者に向けて県産農畜産物の P R を行った。

以下、周年

- ・ J A グループさいたま「地産地消・みんなの良い食プロジェクト」運動  
「よい食」とは何かを、生産者と J A グループ、消費者のみんなと一緒に考えて、行動していく運動。栄養バランスや適性摂取量などの観点から食への関心を高め、調理や食材への興味を喚起。
- ・ 生産履歴記帳運動  
各種研修会を開催することによる、生産履歴記帳運動の充実強化。
- ・ J A 農産物直売所 P R  
地産地消の実践による J A、地域農業の理解促進、消費者のニーズ把握、H A C C P 理解促進のための J A 農産物直売所の研修会の開催。
- ・ 県産農産物のメディア等を通じた P R
- ・ F M N A C K 5 にて番組「彩の国トレたてモーニング」放送。（周年）

- ・ J Aグループさいたまホームページ「みらの」にて各種情報の発信。（周年）
- ・ 消費者向け情報誌「みらの」発行。（7月、11月、3月発行）

## ○ 令和5年度 of 取組計画

- ・ 県産農産物を使用した生活事業担当者向け料理講習会の実施。
- ・ 野菜の日にちなんで、8月31日付埼玉新聞に特集記事及び広告を掲載。
- ・ 彩の国食と農林業の祭典「2023 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」の開催。
- ・ 埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集いへの協賛。
- ・ 県産新米の購入者に対し、抽選でプレゼントを実施するとともに、浦和レッズ選手の起用やNACK5を活用して、県産米のPRの実施。（新米キャンペーン）
- ・ 浦和レッズと連携した県産農畜産物PRの実施。

以下 周年

- ・ J Aグループさいたま「地産地消・みんなの良い食プロジェクト」運動の実施
- ・ 生産履歴記帳運動の実施
- ・ J A農産物直売所PR活動の実施
- ・ 県産農産物のメディア等を通じたPR活動の実施
- ・ 各種PR資材の作成

## 【全国農業協同組合連合会埼玉県本部】

### ○ 令和4年度 of 取組

- ・ 全中・全農版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、ラジオ、テレビ、SNS  
ふかや花園プレミアムアウトレット前デジタルビジョン  
料理・食材雑誌にて農畜産物の情報提供。  
調味料メーカーとのメニュー共同開発、  
販促資材等の作成およびPR活動
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ J A農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント（4月19日）
- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに  
彩のかがやき、彩のきずな、春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚の販売





地産地消フェアなどの埼玉県産農産物コーナー

- ・ 埼玉県産秋冬野菜大田市場PRイベント（11月25日）
- ・ 埼玉の切花・枝物展示会（令和4年11月28日～12月2日）大田市場 花き棟



大田市場PRイベント

- ・ 「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR（11月29日 さいたま市 パレスホテル大宮）
- ・ JAグループさいたま農産物商談会2022にて県産農畜産物のPR及び販売促進（10月3日～11月25日までオンライン開催）
- ・ 埼玉県農商工連携フェアにて県産農畜産物のPR及び販売促進（令和5年2月1日 さいたまスーパーアリーナ）
- ・ JAグループ国産農畜産物商談会にて県産農畜産物のPR及び販売促進（令和5年2月1日～2日：東京都立産業貿易センター浜松町館）（令和5年2月1日～3月31日までオンライン開催）
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会にて県産花卉のPR（令和5年3月9日 埼玉グランドホテル深谷）

## ○ 令和5年度の取組計画

- ・ 全中・全農版生産履歴管理システムの普及促進
- ・ 各種キャンペーン協議会等と連携したホームページ、ラジオ、テレビ、SNS、ふかや花園プレミアムアウトレット前デジタルビジョン、料理・雑誌にて農畜産物の情報提供。調味料メーカーとのメニュー共同開発、販促資材等の作成およびPR活動。
- ・ 学校給食会への県産農畜産物の安定供給と連携強化
- ・ JA農産物直売所の運営改善支援
- ・ 埼玉県産春野菜大田市場PRイベント（4月21日）



- ・ 埼玉県産秋冬野菜大田市場PRイベントの検討
- ・ スーパー・量販店への販促強化及び県内農産物の地域内流通並びに彩のかがやき、彩のきずな、春夏野菜、秋冬野菜、彩の国黒豚試食販売等
- ・ JAグループさいたま農畜産物商談会 2023 にて県産農畜産物のPR及び販売促進（10月2日～11月24日までオンライン開催）
- ・ 2023 彩の国食と農林業の祭典（ドリームフェスタ）にて県産農畜産物販売促進（11月25日・26日 熊谷市 熊谷スポーツ文化公園）
- ・ 「埼玉県地産地消ブランド農産物を味わう集い」にて県産農畜産物PR（11月28日 さいたま市 パレスホテル大宮）
- ・ 埼玉県農商工連携フェア県産農畜産物のPR及び販売促進（令和6年2月7日 さいたまスーパーアリーナ）
- ・ JAグループ国産農畜産物商談会にて県産農畜産物のPR及び販売促進（令和6年2月28日～29日：東京都立産業貿易センター浜松町館）（令和6年2月1日～3月31日までオンライン開催）
- ・ 埼玉県鉢物展示商談会（令和6年3月上旬）

## 【埼玉県森林組合連合会】

### ○ 令和4年度の取組

---

- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 木育推進活動（令和5年3月 小鹿野町新庁舎へ秩父産材を使用した絵本・雑誌架台を寄贈）

### ○ 令和5年度 of 取組計画

---

- ・ 彩の国食と農林業の祭典の開催（「2023 彩の国食と農林業ドリームフェスタ」11月）
- ・ 県産木材のPR活動（通年 県内全域）
- ・ 県産木材認証センターの運営（通年）
- ・ 合法木材製品の利用促進
- ・ 木育推進活動

## 【埼玉県食品工業協会】

### ○ 令和4年度の取組

---

県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動

- ・ 埼玉県産農産物の使用推進  
醤油の原料の小麦はほぼ埼玉県産
- ・ 県事業を活用し、県産野菜を使用した新しい漬物の開発
- ・ 各酒造会社の使用する米、さけ武蔵、彩のかがやき等  
県産酒造用好適米 山田錦、五百万石の生産（加須市）  
加須市特産日本酒（加須の舞）釜屋製造

- Made in Saitama 優良加工食品大賞 2023 への応募 優秀賞等受賞  
優秀賞受賞 川越市 小江戸鏡山酒造「さけ武蔵大吟醸」  
特別賞受賞 越生町 佐藤酒造店「越生梅林 特別純米酒」
- 埼玉県物産観光協会主催  
埼玉県新商品 AWARD 2022 への出品 入賞  
入賞受賞（埼玉県酒造組合 埼玉地酒呑み比べセット 2022）  
1 合缶（アルミ缶）による 24 本セット
- 各種フェア、イベントに出展  
「全国日本酒フェア」（6/17～18） 東京国際フォーラムにて  
埼玉の日本酒を P R  
埼玉酒蔵大試飲会開催 9/14 東京有楽町 東京交通会館  
さいたま市北区 ステラタウンにて 10/8、9、10  
埼玉地酒フェア 開催  
川越 小江戸蔵里にて 10/7、8  
1 合缶 埼玉地酒呑む比べセットの無料試飲会開催  
大宮氷川神社にて 10/29  
「私のお気に入り PRAID2022」にて埼玉県産日本酒、及び加工食品の販売 P R  
農商工連携フェア 令和 5 年 2 月 1 日  
埼玉県の日本酒の P R

## ○ 令和 5 年度 of 取組計画

---

- ふるさと認証食品制度の活用、特にプレミアムの推進
- 県産農産物を利用した加工食品の開発・販路拡大・広報活動
- Made in Saitama 優良加工食品大賞 2024 への応募
- 埼玉県物産観光協会主催
- 埼玉県新商品 AWARD 2023 への出品
- 県産農産物の契約栽培の推進
- 各種フェア、イベントに積極出展  
さいしんビジネスフェアへの出展 6/7 さいたまスーパーアリーナ  
酒造組合、他加工食品関係会社（弓削多醤油、高橋ソースなど）  
全国日本酒フェアへの出展（県産日本酒の P R） 6/16～17  
埼玉 32 酒蔵大試飲会の実施（9/20 さいたまスーパーアリーナ展示場）  
大宮氷川神社  
菰樽奉納、無料試飲会の実施 10 月  
各蔵新酒まつりへの参加



## 【一般社団法人埼玉県青果市場連合会】

### ○ 令和4年度の取組

---

- ・ 会報誌への資料掲載と取組に向けたPR。（随時）
- ・ 県産野菜の量販店での販売促進。
- ・ 『行田在来えだまめ』の県内流通（販売：10月）  
行田市及び熊谷市妻沼地区で生産される甘味が強く特有の風味をもつ「行田在来えだまめ」の契約取引を平成26年度から実施。  
令和4年度の取引は県内5市場を通じて行われ、約2.5tを県内の量販店等で販売。
- ・ 『丸系八つ頭』の県内流通（販売：11～12月）  
丸形で皮が剥きやすく、甘みがあってホクホクした食感を持つ「丸系八つ頭」の契約取引を平成27年度から実施。  
令和4年度の取引は県内4市場を通じて行われ、約4.7tを県内の量販店等で販売。

### ○ 令和5年度取組計画

---

- ・ 会報誌への資料掲載と取組に向けたPR。（随時）
- ・ 県産野菜の量販店での販売促進。  
「行田在来えだまめ」については、引き続き契約取引を推進。  
「丸系八つ頭」については、取引実績を踏まえて一般取引に移行。
- ・ 県内の産地と市場との間で、契約取引等を推進するため情報交換会を開催。

# 【公益財団法人埼玉県学校給食会】

## ○ 令和4年度の取組

- ・ 学校給食への県産農産物導入の推進



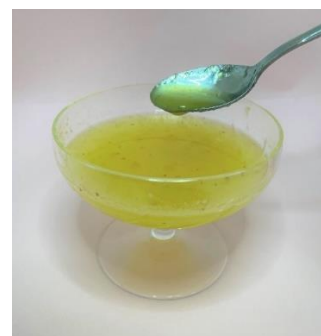
国産もち麦（埼玉県産）



埼玉県産八頭コロッケ



彩の国シュウマイ（Fe・Ca）（県産黒豚使用）



埼玉県産ゴールデンかぼすソース

- ・ 関連団体と連携し、児童生徒向けに埼玉県産農産物ポスター「埼玉県自慢の美味しいお米」を作成

The poster features the following information:

- 特A 評価獲得** (Special Grade A Evaluation Award)
- 彩のきすな (SAI NO KIZUNA)** rice product.
- お米の栄養** (Rice Nutrition):
  - たんぱく質 6.1%
  - 炭水化物 77.6%
  - 脂質 0.9%
  - 水分 14.9%
  - 長分 0.4%
- 埼玉県の水稲品種別作付面積 (令和3年)** (Rice Cultivation Area by Variety in Saitama Prefecture, FY2021):
  - コシヒカリ 31%
  - 新のびやゆき 22%
  - あひろ 12%
  - あきたまゆめ 30%
- 2021年埼玉県お米収穫量ランキング** (2021 Saitama Prefecture Rice Harvest Volume Ranking):
  - 加須市 22,000t
  - 久喜市 8,500t
  - 鴻巣市 8,000t
  - 蕨谷市 8,070t
  - 行田市 8,380t
- 埼玉県全体の収穫量は152,400トン(令和3年)** (Total rice harvest in Saitama Prefecture is 152,400 tons (FY2021)).

- ・ 生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業（19校（所））
- ・ 学校における食育推進教材活用研修会（栄養教諭、学校栄養職員対象 6月21日）



- ・ 学校給食調理コンクール（栄養教諭、学校栄養職員対象 7月5日、22日）
- ・ 学校給食親子料理教室（10月16日）家庭で役立つ料理教室



- ・ 11月の彩の国ふるさと学校給食月間に「彩の国学校給食研究大会」を開催（11月1日）
- ・ 学校給食調理講習会は中止となったが、レシピ集や調理動画を作成しホームページに掲載

※令和4年度についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした事業がありました。

○ 令和5年度の取組計画

実施時期	実施内容・対象・回数等	実施会場・場所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食への県産農産物導入の推進及び、県産農産物利用食材の開発を行う。</li> <li>・関係団体と連携し、県内全児童・生徒を対象に県産農産物の給食への利用状況及び生産状況を紹介するリーフレットを作成し、地域農業・県産農産物への理解を深め地産地消と食育の促進を図る。</li> <li>・生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校等支援事業を行う。(20校(所))</li> </ul>	
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における食育推進教材活用研修会(栄養教諭、学校栄養職員対象)食に関する指導用教材を活用した研修会</li> </ul>	学校給食会
7月5日、 25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食調理コンクール(栄養教諭、学校栄養職員、調理従事者対象)</li> </ul>	学校給食会
8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食親子料理教室 食育を支援するため親子を対象とした家庭で役立つ講習会</li> </ul>	学校給食会
8月10日、 10月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食調理講習会(栄養教諭、学校栄養職員対象)食事内容を魅力的かつ豊かなものとする</li> </ul>	学校給食会
8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱食材等情報研修会(栄養教諭、学校栄養職員対象)</li> </ul>	学校給食会
10月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子体験教室 学校給食用のパンについて理解を深めるため、親子によるパン作り体験教室を開催</li> </ul>	指定パン工場
11月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・彩の国学校給食研究大会 彩の国ふるさと学校給食月間にあわせ、学校給食調理コンクールの表彰も行う</li> </ul>	さいたま市文化センター
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食教室 学校給食の重要性やあり方及び学校給食用食材について、保護者のより一層の理解を図るため開催</li> </ul>	学校給食会

## 【一般社団法人埼玉県商工会議所連合会】

### ○ 令和4年度の取組

会議所名	名称	取り組み内容	実施時期
さいたま	ついたちまんじゅう	ついたちまんじゅうの会会員店舗全店のついたちまんじゅう集合販売 ①浦和駅改札出口向かい販売特設ブース ②そごう大宮店、高島屋大宮店	①7月1日 11月1日 ②毎月1日 (1月を除く)
		・各種関係団体によるイベントでのPR活動 ・「埼玉の小麦」をテーマとしたイベントを企画・参加	通年
秩父	小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト	秩父の和点心「小昼飯（こぢゅうはん）プロジェクト」を継続・推進する。	通年
深谷	ふかやカレーやきそば	名称変更「深谷ねぎカレーやきそば」に変更 ・専用WEBサイトやパンフレット、会報誌等でのPR ・深谷市産業祭への出店PR活動 ・市外等のイベントに参加（照姫まつり）	(3月) 通年 深谷市産業祭 (11月) (5月)
	渋沢栄一翁及び畠山重忠公関連事業	・渋沢栄一翁及び畠山重忠公関連商品を紹介した専用サイトの（深谷めぐり）作成・運営による販売促進 ・深谷商工会議所オリジナルの渋沢栄一翁ロゴマークの活用促進（新商品開発支援含む） ・渋沢栄一翁が好んで食べた深谷市郷土料理「煮ほうとう」のPR活動 ・深谷市の魅力等を発信する総合施設「深谷テラスパーク」でのPR	3月～以降通年 通年 通年 3月
	地域資源情報サイト「FUKAYA-BRAND」	・地域資源活用商品の開発を支援し、開発後の商品 ・サービス等を専用サイトに掲載することで販売促進活動を行い、販路拡大に繋げる	通年
	U-TaaaN PROJECT	野生動物（主にシカ）の原皮を受入れ、鞣（なめ）し加工を請け負う事業。原皮の産地の要望に応じ、革素材だけでなく、デザインを一緒に考えながら小物・バッグなどの製品にして地域に還元する。これまで、埼玉県内において、西秩父のシカの皮を受け入れた実績がある。	通年

草加版コミュニティフリッジ(公共冷蔵庫)事業	フードロス対策と生活困窮家庭支援を結び付け、事業系の食品ロスを積極的に活用し、事業者の廃棄コストから運営費を捻出する社会解決型自走式食品支援モデルを展開。地域内の新たな食品流通経路を開拓し、食品ロス対策と福祉的な支援と融合する新たな取組み(広義の地産地消モデル。)を展開した。この活動が評価され、「彩の国埼玉環境大賞」を受賞した。	6月～
------------------------	---	-----

## ○ 令和5年度の取組計画

会議所名	名称	取り組み内容	実施時期
さいたま	ついたちまんじゅうの会	ついたちまんじゅうの会会員店舗全店のついたちまんじゅう集合販売 ①浦和駅改札出口向かい販売特設ブース ②そごう大宮店、高島屋大宮店	①7月1日 11月1日 ②毎月1日 (1月を除く)
		・各種関係団体によるイベントでのPR活動 ・「埼玉の小麦」をテーマとしたイベントを企画・参加	通年
秩父	小昼飯(こぢゅうはん)プロジェクト	秩父の和点心「小昼飯(こぢゅうはん)プロジェクト」を継続・推進する。	通年
深谷	深谷ねぎカレーやきそば	・専用WEBサイトやパンフレット、会報誌等でのPR ・深谷市産業祭、各種関係団体主催イベント等への出店PR活動 ・スタンプラリーで事業PR	通年 通年 9月
		・渋沢栄一翁及び畠山重忠公関連商品を紹介した専用サイト(深谷めぐり)の作成・運営による販売促進 ・深谷商工会議所オリジナルの渋沢栄一翁ロゴマークの活用促進(新商品開発支援含む) ・渋沢栄一翁が好んで食べた深谷市郷土料理「煮ほうとう」のPR活動 ・渋沢栄一翁新札記念ギフト冊子(仮称)の発行と深谷テラスパークで周知イベント開催	通年 通年 通年 9月
		地域資源活用商品の開発を支援し、開発後の商品・サービス等を専用サイトに掲載することで販売促進活動を行い、販路拡大に繋げる	通年
	地域資源情報サイト「FUKAYA-BRAND」		

草加	U-TaaaN PROJECT	野生動物（主にシカ）の原皮を受入れ、鞆（なめ）し加工を請け負う事業。原皮の産地の要望に応じ、革素材だけでなく、デザインを一緒に考えながら小物・バッグなどの製品にして地域に還元する。これまで、埼玉県内においては、西秩父のシカの皮を受け入れた実績がある。	通年
	草加版コミュニティフリッジ(公共冷蔵庫)事業	フードロス対策と生活困窮家庭支援を結び付け、事業系の食品ロスを積極的に活用するとともに、軽減された事業者側の廃棄コストから運営費を捻出する社会解決型自走式食品支援モデル。今年度は、商工会議所青年部が事業の実施主体となり、青果・生鮮品も含めた地域内の食品流通経路を開拓・定着を図り、食品ロス対策と福祉的な支援を両立されるための幅広い取組み（広義の地産地消モデル。）をさらに前に進めていく。	通年

## 【埼玉県商工会連合会】

### ○ 令和4年度の取組

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」で地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催された全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援

### ○ 令和5年度の取組計画

- ・ 商工会や商工業者による県内農産物を活用した特産品開発や販路開拓の支援
- ・ 商工祭・産業祭等における地域特産品の販売促進
- ・ 会報「彩の国商工会だより」やHPで地域の取り組みを随時PR
- ・ 池袋サンシャインシティで開催される全国物産展において、特産品開発業者の出展を支援
- ・ 国、県の補助金事業に関する情報提供と申請支援
- ・ ジェトロ埼玉貿易情報センター等関係団体との連携による販路開拓等の支援

## 【一般社団法人埼玉県食品衛生協会】

### ○令和4年度の取組

---

- ・食中毒予防の啓発  
夏季の食中毒予防月間、冬季のノロウイルス食中毒予防強化期間を中心に、食中毒予防キャンペーンや衛生講習会を開催し、啓発物の配布や手洗いチェッカーによる指導を行った。
- ・食品衛生に関する各種講習会の開催  
食品衛生責任者資格者養成講習会を浦和と東松山会場において66回開催するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としてインターネット利用によるeラーニングを導入し、6,628名の食品衛生責任者を養成した。同実務講習会を県内33回開催するとともに、eラーニングも導入し4,932名に対し食品衛生に関する最新の情報を提供した。また、HACCP導入講習会を14回開催し、衛生管理計画の作成と記録方法の習得を促した。
- ・食品衛生指導員による施設の巡回指導  
食品衛生指導員506名が食品営業施設を巡回し、自主管理の徹底、ノロウイルスの注意喚起、HACCPによる衛生管理等を指導した。
- ・自主検査の推進  
食品営業者の自主衛生管理を推進するため、腸内細菌検査166,018件、食品の細菌・化学検査16,772件を実施した。

### ○令和5年度取組計画

---

昨年度と同様の事業を行うほか、特に食品営業者のHACCPによる衛生管理を推進していく。